

国立大学法人 三重大学

学長 伊藤 正明 様

三重県北勢地域の産業を支え  
人材育成を担う大学の設置について  
～三重大学工学系学部・研究科新設のお願い～

**【要望書】**

令和6年1月12日

## 1. 地域産業の“これまで”と“これから”

三重県の北勢地域は、約 83 万人の人口を擁し（三重県全体の約 4.7 割）、域内総生産は約 4.5 兆円（三重県全体の約 5.5 割）の規模があるなど、我が国でも有数の経済規模を誇る地域として発展を続けて参りました。近年では、臨海部の石油化学産業だけでなく内陸部に加工組立工場や最先端の半導体工場等の立地が進み、優れた技術を有する中小企業も数多く集積するなど、今もなお三重県の経済成長を牽引する役割を担っています。

こうした北勢地域における産業の中心は、石油化学、輸送用機械、半導体・電子部品などの製造業となっており、製造品出荷額は約 7.7 兆円で三重県全体の約 7 割を占め、県内製造業従事者数の約 5.8 割が当地域で就業しています。

一方で、今後の北勢地域を取り巻く経済環境を見通すと、「人口減少、少子高齢化の進行」「人材不足の深刻化」「DX の進展」「カーボンニュートラルの進展」など、地域産業の持続的発展を維持するためには、これらへの対応が必要不可欠となっています。

そして、地域の中小企業にとっては、「労働力不足」「労働生産性の低迷」「DX への遅れ」「設備不足・設備老朽化」「事業承継・技能承継」など、企業存続に影響を及ぼす課題が山積しています。

## 2. 北勢地域における大学への期待

我が国は今後、過去に経験したことがない人口減少社会の中で、様々な社会変化や複雑かつ困難な課題に直面することになります。既に地域の企業では、労働力不足が顕著となってきており、今後その傾向がさらに強まると考えられるなか、生産性をいかに高めていくことができるかが、企業にとっても地域にとっても重要となってきます。そして、そのためには新たな商品開発や研究・技術開発、人材育成等の重要性が増し、これまで以上に産学官連携を活発化させていく必要があります。ついては、上記の産業特性を持つ当地域としては、工学部を有する三重大学との連携強化が必要であると考えています。

北勢地域においては、2003 年 10 月、産学官連携を推進するため、三重大学が地域の企業との交流・情報発信の拠点施設として「四日市フロント」を開設しました。その後、2019 年 2 月には、北勢地域をフィールドとする教育研究の

実践的展開における中核拠点として「地域拠点サテライト 北勢サテライト」が開設されました。このように三重大学と当地域には、これまでに培われてきた企業との連携基盤があり、共同研究や人材育成事業などが展開されてきました。

我々としては、今後もこうした連携は拡大していく必要があると考えるところに、人口減少・少子高齢化という先行きに停滞感が漂うこれからの時代を乗り越えていくためには、地域の力を引き出す若い力、つまりは地域や企業をフィールドに学び、活躍する多くの学生の力が必要であると考えています。具体的には、三重大学と地域の企業が行う共同研究や技術開発等の場で学生が専門的知識や技術を身に着け、その力を再び地域企業に還元する、といった機会の創出が地域産業の競争力向上や地域経済の発展に寄与するものと期待しています。

### 3. 北勢地域の持続的産業発展のために

産学官連携は、言うまでもなく産業界と大学、行政が協力し合うことで、技術革新や研究開発、新たなビジネスモデルの創出などを促進し、地域産業の発展を支える重要な取り組みです。これをより活発に促進するためには、大学と地域との地理的な近接性が重要であり、効果的に展開していくためには地域内に教員と学生が常時集い、学び、活動する拠点の設置が必要であると考えます。大学に近接した企業現場で学生が現場に関わりながら学び、研究することで地域特性を踏まえた人材が育成され、地域にそして地域の企業に対する愛着が高まることも期待でき、ひいては若者の地域への定着、地域産業の活性化にもつながります。

つきましては、次の事項について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

## 【要望】三重大学工学系学部・研究科の北勢地域への設置について

将来に向けた三重県北勢地域の産業の持続的発展という観点から、四日市市が大学誘致を目指しているJR四日市駅前に、以下の機能・役割を担う三重大学工学系学部・研究科の設置を要望します。

- (1) 製造業が集積する北勢地域の特性を踏まえた研究に取り組み、地元産業の新たな取り組みを積極的に後押しすること。
- (2) 社会が大きな変革を続けるなか、製造業の技術革新や生産性向上を支えるDXやGX等の専門知識・技術を持つ人材育成を行うこと。
- (3) 地域の産学連携・研究の拠点として、地域や地域企業が抱える課題を解決し、イノベーションを創出すること。
- (4) スタートアップを志向する人材育成や大学発ベンチャーの起業等、新産業創出の原動力となること。
- (5) 地域の企業が、急激な技術革新の進展や市場の変化に対応するため、必要な知識や技能を習得できるようリカレント教育を提供すること。
- (6) 多くの若者を地域内外から呼び込み、地域への定着に貢献すること。

以上

桑名商工会議所	会頭	山本	重雄
四日市商工会議所	会頭	小川	謙
鈴鹿商工会議所	会頭	田中	彩子
亀山商工会議所	会頭	岩佐	憲治
桑名三川商工会	会長	伊藤	克彦
木曾岬町商工会	会長	浅井	文雄
いなべ市商工会	会長	三輪	秀孝
東員町商工会	会長	一色	利之
菰野町商工会	会長	辻	伴壽
楠町商工会	会長	加田	静夫
朝明商工会	会長	安藤	邦晃